

「行田みらい塾」講演会とワークショップを開催

9月24日、商工センターホールで日本遺産を生かした地域ブランディングや商品開発、事業開発などを学ぶ「行田みらい塾」が開講しました。

この日は、「日本遺産の価値と活用法」をテーマとした講演後、約50人の参加者が中心市街地を歩き、気づいたことを書き留めて、日本遺産の構成文化財である牧捨舎で意見を交換しました。



さまざまな体験に大満足

10月15日、コミュニティセンターみずしろで「第28回浮き城のまち行田こどもまつり」が開催されました。

この日は朝から雨が降り、あいにくの天気となりましたが、多くの子供たちが会場を訪れ、「バルーンアート」や「スライムづくり」など各コーナーの催しを楽しんでいました。また、今回から出店団体として初参加となったNPO法人行田市民大学活動センターの皆さんに竹馬の乗り方を教えてもらったり、生涯学習のマスコット「マナビィ」と交流したりと、普段できない体験に大満足の様子。自分の手で作成した作品やプレゼントを両手いっぱい抱え、子供たちは満面の笑みを浮かべていました。



市若手職員が「日本遺産をテーマとしたまちづくり」について提案

10月10日、市役所305会議室で市若手職員による政策研究の発表会が行われました。

日本遺産を活用したにぎわいあふれるまちづくりを目指し、5組26人の職員が、今年の6月から検討を重ねてきました。この日の発表会では、日本遺産の構成資産である足袋や蔵の新たな活用方法、SNSを利用した情報発信など、若手職員ならではの斬新なアイデアが提案されました。



行田商工会議所設立70周年を迎えて

9月30日、行田商工会議所設立70周年記念式典が商工センターホールで開催されました。

記念式典では小川会頭から式辞が述べられた後、会員企業延べ58社が表彰されました。その後、歴史作家の河合敦さんによる記念講演「世界一おもしろい歴史の講演会 人生を豊かにする幕末の偉人に学ぶ生き方」が行われました。河合さんは吉田松陰や坂本龍馬を取り上げ、偉人の人材育成やリーダーシップについて分かりやすく解説し、来場者は興味深そうに耳を傾けていました。

スポーツの秋、記録更新を目指して

10月4日、総合公園自由広場で行田市小学校連合運動会が開催されました。

この運動会には市内の小学6年生が参加。同じ小学校の仲間や保護者から盛んに声援が送られる中、参加した児童は自己記録の更新を目指し、日頃の練習の成果を発揮して一生懸命競技していました。



工藤市長と森教育長がICTを活用した先進的な取り組みを視察

9月29日、ICT(情報通信技術)を活用した先進的な取り組みを視察するため、工藤市長と森教育長が南河原小学校を訪れました。

同校では、今年度、ICT機器を設置しタブレットなどを活用した授業の研究を推進しています。この日、工藤市長らは、3年1組で教師用タブレットや実物拡大投影機を使用して行われている授業風景を視察。新しい技術を取り入れた授業は子供たちにとっても、良い刺激になっているようです。

